

県労連 あおもり

2019年3月5日 第342号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

前代未聞! つがる総合病院 内山委員長の再任用拒否!



佐々木市長(広域連合長)への要請

つがる総合病院に勤務する内山宏委員長の再任用希望に対し、病院当局は昨年10月「再任用しない」と回答した。なぜ拒否なのか理由を示せ!という要求に、当局は「選考過程は開示しない。再任用できない」と

うことしか言えない」との不誠実な対応に終始している。しかも、再任用希望者13名中、拒否は内山委員長のみである。情報公開条例に基づき開示請求したが、出された文書は、「黒塗りに」状態。拒否理由が全くわからない。まさに情報公開の趣旨を踏みにじるものである。

告知してきた。再任用制度は、年金の支給開始年齢が65歳に引き上げられることで、無収入期間が発生しないうような雇用と年金の接続を図ることを趣旨としている。労働者が生きていくために不可欠な制度であり、法律も処分や職務遂行能力に支障がある場合に限定して、再任用を拒否できるとしている。考えられるのは、委員長を標的にした組合攻撃だけである。これを許すならば、組合の団結に重大な支障を来すとともに、当局が気に入らない職員は、勝手に差別できることになってしまう。このことは地域住民の命と健康を守る先頭に立つ病院職員への攻撃でもある。撤回へ向け、皆さんの支援を強くお願いしたい。

「なぜこのような判断をしなのか持ち帰り検討する」と発言したが、再度「再任用拒否」を通

らちがあかず、設置者である広域連合長の佐々木五所川原市長と2月に懇談した。連合長は「なぜこのような判断をしなのか持ち帰り検討する」と発言したが、再度「再任用拒否」を通

組織拡大総がかり行動 五戸町、新郷村、六ヶ所村で アンケート活動

全労連の組織拡大新4か年計画に基づき、2017年9月から青森県労連の重点計画を検討してきました。未組織自治体等の職員の組織化を重点計画とすることを決定し、昨年12月に全労連に申請し、最重要計画として認定されました。県内では、五戸町、新郷村、六ヶ所村の役場と五戸総合病院に労働組合が存在していないことから、組織化に向け県労連及び県労連加盟組織が総がかりで取り組むこととなりました。神奈川県労働組合が小田原市を対象に組織化に取り組んでいる

ことから、その例に倣って、対象の職場に知り合いがいたら紹介してもらう「紹介カード」を全組織に要請しています。具体的な行動としては、1月29日に対象職場の職員等に返信用封筒付きの「春闘アンケート」を配付しました。早朝6時に青森市を出発、六ヶ所村と三戸郡の二手に分かれ、三戸郡は現地で三八地労連と合流し、出勤時や昼休み時間を活用して配付しました。返送されたアンケートの集計結果を労働者に返すため、2月26日早朝に六ヶ所村へ、27日には三戸

- 憲法フォーラム
 - ・ 3月17日(日)14時
 - ・ アピオあおもり
 - ・ 主催 県9条の会など10団体
- 消費税10%中止を求める大学習会
 - ・ 3月20日(水)14時
 - ・ アスパム6階
 - ・ 講演 「10%増税で日本は崩壊する」
 - ・ 講師 斎藤貴男(ジャーナリスト)
 - ・ 主催 県社保協
- 憲法ネット総会
 - ・ 3月23日(土)13時半
 - ・ アピオあおもり
 - ・ 講演 「戦争法」と憲法
 - ・ 講師 金子勝(立正大学名誉教授) 憲法学

大幅賃上げ・社会保障の充実 ―春闘決起集会―

―春闘決起集会―

3月9日、県春闘共闘会議(議長・奥村榮)は「19春闘勝利決起集会」を開催し、県内から43名の参加がありました。集会では、全労連の長尾ゆり副議長が「19春闘の情勢と課題」と題して講演し、19春闘の4つの柱として、①誰もが8時間働けば人間らしく暮らせる社会に、②人間らしく働くルールを、職場でも社会でも実現する春闘、③安倍9条改憲に終止符を打

ち、戦争する国づくりから転換し、平和で核兵器のない世界をめざす春闘、④すべての加盟組合が新しい仲間を迎え、組織拡大で大きく増やし、前進する春闘、を強調しました。安倍政権は景気回復を宣伝しているが、労働者・国民にその実感はない。大企業と富裕層は大儲けをしているが、消費支出は減少しており、大幅賃上げ・すべての働く人の賃金底上げで、くらしを



講演する長尾ゆり副議長

生命・医療・火災・自動車・・・

全労連共済

労働組合の助け合い共済。
民間保険と違い、営利目的ではない。
だから、「小さな掛金」で「大きな保障」が実現。
問い合わせは県労連に ☎ 017-762-6234

沖縄県知事選挙結果を踏まえて、「真摯に受け止めて、沖縄の皆さまの心に寄り添う」。ウンと偽りだらけの安倍首相の発言でも、これほど欺瞞に満ちた言葉はなかった。舌の根も乾かないうちに、県民が諦めるだろうと辺野古の美しい海への土砂投入は、あまりにも卑劣なやり方である。そのことが逆に県民の怒り広げ、2月24日投票で行われた辺野古新基地建設の埋め立ての賛否を問う県民投票で、「反対」の票数は43万票、賛成は11万票で「反対」が7割を超えた。これは県知事選挙で玉城知事が獲得した39万票を大きく上回り、改めて沖縄県民の民意が示されたこととなる。

この結果についても安倍首相は、「真摯に受け止めて、基地負担軽減に向けて全力で取り組んでいく」としたうえで、「日米が全面返還に合意してから20年以上実現されていない。これ以上先送りすることは出来ないと表明し、あくまで日米合意に基づき辺野古埋め立て、新基地建設を急ぐ立場を強調した。真摯に受けとめるなら埋め立てを中止、すべきではないか。この人には「民主主義」の「み」の字もない。今度の参院選挙で市民と野党共闘で退陣に追い込もう。

(柳谷)

沖縄県民投票で辺野古埋め立てNO!

2月24日、辺野古新基地建設の埋め立ての是非を問う沖縄県民投票(投票率52.5%)が実施され、埋め立て反対が43万4273票(72%)、賛成11万4933票(19%)、どちらでもない5万2682票(8.7%)となり、沖縄県民の圧倒的多数は辺野古の海の埋め立て反対の意思を明確に示しました。



県民投票告示の沖縄連帯

安倍政権は県民投票を阻止するため、政権を支持する宜野湾市・石垣市・沖縄市などの5市に県民投票不参加を指導するなどの妨害をしましたが、3択を受け入れたの県民投票の実施となりました。自民党の支持層でも反対48%(賛成41%)、公明党支持層層では反対55%(賛成26%)と政

四野党も結集したフォーラム

2月23日、1昨年10月に発足した市民連合あおもり主催の「二本気です!アベ政治にかわる新たな選択肢」市民と野党の共闘フォーラムが青森市で開催され、県内各地から120名が参加しました。集会には立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党の4野党の代表が参加、参院選挙の選挙区

で野党統一候補を擁立、安倍政権を早期退陣に追い込むために参加者と意見を交換しました。市民連合の神田健策代表委員は、日本会議の桜井よしこ共同代表の「参議院の改憲勢力は3分の2をわずかに上回るのみ、

権側でも埋め立て反対は多数と報道されています(共同通信)。毎日新聞は社説で、「政府はただちに埋め立てをやめ、沖縄県と真摯に解決策を話し合うべき」と主張。しかし、安倍首相は「投票の結果を真摯に受

け止め、基地負担軽減に全力で取り組む」とし、土砂投入を中断することなく強行しています。川柳の投書欄に、「『真摯』の意味を破壊するアベ」「安倍首相『真摯』と漢字で書けませうか」と揶揄されるのも領け

ます。安倍政権は、辺野古新基地建設反対の沖縄県民の意思を尊重し、埋め立てをただちに中止、新基地建設計画を撤回し、普天間基地移設をアメリカと交渉すべきです。

建国記念の日を考える集会

4野党の代表は、安倍政権の早期退陣と改憲阻止、市民と4野党共闘による統一候補擁立の意義をそれぞれ語りました。参加者は安倍政権に対する怒りと政権交代の意義を熱く語り、また4野党に候補者の早期決定と知事選挙の取組み、雇用政策や原発・核燃政策、若者対策などについての要望が出されました。

最後に市民連合と4野党が手をつなぎ、共闘をアピールしました。2月11日、第39回「建国記念の日」を考える集会在アピオあおもりで開催されました。開会に先立ち青森センター合唱団が歌声を披露しました。「日本国憲法と私たちの暮らし」「建国記念の日」に考える」と題して、



市民連合と四野党の代表

した祝日で史実に基づかないものだ」と批判しました。神田さんは、戦時中北海道大学で「軍機保護法」で無実の罪で教師と学生が逮捕された「宮沢・レイン事件」を取り上げ、13

〈ろうきん〉のカードなら
ATMお引き出し手数料
全額即時キャッシュバック!
実質 **0** 円
東北労働金庫青森県本部 青森市本町3丁目3-11 ☎017(777)6165

年に強行成立させられた秘密保護法の危険性を指摘しました。9条改憲は安倍政権が強行した安保法制、戦争法や共謀罪法の総仕上げで、戦前への回帰を狙っていると指摘しました。



センター合唱団の歌声



年々使う年賀状が減り、今年も残ってしまいました。年賀欠札のハガ

第340回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いてください。余白に職場の様子や最近の出来事などを、およそ

ください。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。
●締切 4月15日
●発表 5月号
●宛先 030-0852 青森市大野字若宮165-19。FAX、メールは欄外に表記。「第340回まちがいがし」係りまで。



山口浩美(全労働)、伊藤和夫(年金者組合)、檜山恵美子(年金者組合家族)、竹浪協子(ひだまり)、佐藤旭(健生労働組)

第338回の答えと当選者
《答え》①左端の女性の前髪②左から2人目の裾の長さ③左の屋根の形④中央女性の左袖⑤神社の鈴⑥巫女さんの袖の長さ⑦右の男性の帽子
《当選者》22通の応募でした。当選者は次の方々です。

キも毎年いただき自分の年を感じてしまいます。誰か書いていた「ちょっと猛進」に同調します。(今晴美・ひだまり)
正月に映画
「こんな夜更けにバナナかよ」見た。難病患者と介助ボランティアの物語でした。国の援助はどうなっているのかすごく考えさせられました。(千葉三千代・年金者組合)

今年のお初詣で
引いたおみくじは「大吉」でした。年女でもあり、がんばって良い事を引き寄せようと思っています。思い出に残る1年にしないとネ!(三上ひろみ・ひだまり)
例年夫婦二人で
行っていた初詣。今年は子どもたちも寝ずに頑張り家族そろってお参り、あたたかいおそばを食べました。みんな健康で元気に過ごせ

ますように。子どもたちは何を祈りしたのかな? (笹村明日香・民医労)
昨年ほこめが不作
にもかかわらず県の作況指数が100です。おかしいです。恐ろしいTPPが始まると思うと不安でいっぱい。選挙で勝って廃止したい。(坂本豊・東青農民組合)
温泉で42年前
の中学校の教え子と会った。先生、体が昔の3倍になったんじゃないの!と言われ、新採用の頃とは変わりました。次の言葉は、今じゃ先生と同じ年代になったよ!だった。(中道博章・年金者組合)